



西会津中学校 学校だより

令和4年4月28日発行
5月号 No.2
発行者 校長 佐藤 崇史

雄飛

【教育目標】
未来の可能性を創造していく生徒

自主

自律

敬愛

健康

困難にどう立ち向かう？ ～GRITの精神で立ち向かおう～

面倒だからやめておこう、難しいからやめておこう、格好悪いから失敗したくないという気持ちはみんな持っています。しかし、自分にとって必要なことなら、どんな困難な状況でも向かっていかなければなりません。新年度が始まった今だからこそ、挑戦していこうとする気持ちが必要です。

先日、2年生のアントレプレナーシップ学習が始まりました。そのオリエンテーションの動画でプレゼンテーションをする人物がこんなことを語ります。「できないと考えるのはやめよう」と。「無理だ」というのは「できない理由を自分で決めている」のだと。

小さいころ、歩いたり走ったりすることができるようになるまで、なかなかうまくできなくて、時には、転んでしまうこともあったと思います。傷ができたこともあったはずですが。そういう痛い経験をして、うまく歩いたり走ったりできるようになるのです。中学校での学びも同じことです。失敗を避けると成長は止まります。挑戦こそ、成長なのです。困難に打ち勝った経験がない人が、社会人になって初めて大きな失敗をするとダメージも大きいとも思います。

ここで、知っておいてほしい言葉があります。「GRIT」です。これは英単語の頭文字をつないでできています。まずGはGutsです。「ガッツポーズ」「ガッツのあるやつ」と言います。困難に立ち向かう闘志がガッツです。2つ目のRは、Resilienceです。失敗してもあきらめない回復力です。レジリエンスという言葉は、2020年に日本人宇宙飛行士の野口聡一さんが搭乗した宇宙船の名前でも有名です。宇宙飛行でも予期せぬトラブルやちょっとした失敗はつきものですが、それにめげずに乗り越えていこうという意味をこめているのだそうです。3つ目のIは、Initiative。自分で目標を決め、自ら率先して取り組んでいく力です。最後のTが、Tenacity。これは執念、最後までやり遂げる力です。やる気満々で闘志を燃やし、失敗してもあきらめることなく、自発的に取り組むことで、最後までやり遂げる、これがGRITです。

このGRITの意味を考えると、夢（失敗を恐れず、夢に向かって前進する）、自信（自分自身を認めて、根気強く努力する）という、西中生に大切にしてほしいことがしっかりと含まれています。GRITは「自律」に向けて大切なことなのです。

2001年にノーベル化学賞を受賞した野依良治先生は、「厳密に計画を立てて、注意深く実験を重ねても、予想通りの結果を得られないことは多々ある。でも、それを失敗と呼ぶのは適切ではなく、うまくいかないことには必ず科学的な意味があります。しっかり事実を整理して把握し、深く考え直すことが重要です」と述べています。一度や二度の失敗であきらめることなく、その失敗の反省の上に立って、うまくいくまで何度でも挑戦すればいいのです。

中学生のうちに、たくさんの挑戦をして、失敗もして、グリットを育てていきましょう。これからの時代に大切なのは、テストの成績やIQなどの数値で測れる能力以上に、このGRITのような非認知能力なのです。「凡事徹底」も、「利他共生」もまずは自分がしっかりと挑戦することから始まります。挑戦することが、成長への第一歩です。

全国学力・学習状況調査、ふくしま学力調査を実施 ～今、求められている学力～

1, 2年生はふくしま学力調査(4/13)、3年生は全国学力・学習状況調査(4/19)を実施しました。今、求められている学力がその出題された問題からうかがえます。全国学調の国語では、「ウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用して書く」という問題が出されています。情報を適切に取り出すことのできる力が求められていることがわかります。ふくしま学力調査でも、正しく情報を読み取るのが求められています。まさに、本校で取り組んでいる読解力の育成は情報を正確に取り出すことを目指したものです。この調査の結果をしっかりと分析し、子どもたちの読解力向上につなげていきます。



避難訓練 ～どうやって逃げるのか～

先日、避難訓練をしました。火災を想定した訓練です。避難訓練をすると思えば話があります。東日本大震災で、釜石の奇跡と呼ばれた事例です。グラウンドに地割れが走ったのを見て、「津波が来るぞ！逃げるぞ！」と言って真っ先に逃げた釜石東中学校のサッカー部員たち。それを見て、ほかの中学生も、小学生も逃げる。おじいちゃん、おばあちゃんも逃げる。こうやって、率先避難者が真っ先に行動を起こすことで、多くの命が救われたのです。

異変を感じても、「大丈夫だろう、たいしたことはないだろう」と思う心性は「正常化バイアス」と呼ばれます。私たちは、地震などがあっても、自分は大丈夫だと思ってしまうことがあります。その危険性を知った上で、もし異変があったら、真っ先に逃げることを教えたいです。釜石東中学校のサッカー部員たちが、異変を感じて、率先して逃げたことで多くの生命が救われているのですから。

そして、逃げるには、どうやって逃げるか、どこに逃げるかを知らなければいけません。それらのことを理解し、しっかり逃げられるようにする避難訓練にしたいと思います。どこにどうやって逃げるかを知らなければ、真っ先に逃げることもできないのですから。



アントレプレナーシップ学習、始動 ～思いを現実に～

今年度のアントレプレナーシップ学習がスタートしました。2年生はアントレプレナーシップ学習の概要を学び、考え方やこれからの方向性を確認しました。今後、たくさんのアイデアを形にしていけるようになります。3年生は、昨年度のアイデアを実現するために、町民の方からネット上で意見をいただくデンディムの内容をもとに、さらに町企画情報課や地域おこし協力隊の方の協力をいただきながら、今後すべきことを確認していきました。

それぞれが思いを形にするために動き出しました。未来を考えることはワクワクします。一つでも多くのことを実現しながら、自分たちのアイデアが未来を、西会津を創っていくことを実感してほしいと思います。どんな形になるのか、楽しみにしています。



GWは読書をしましよう！！

29日からGW（ゴールデンウィーク）です。有意義な連休にしてほしいと思います。そして、せっかくの連休ですので、この機会に、ぜひ、読書をしてほしいものです。『羊と鋼の森』などの作者で知られる小説家、宮下奈都さんは、「きっと、そこに、あなたのための物語が待っています。出会えたはずの誰かとすれ違ってしまっても、本はあなた自身と出会う扉です。今のあなたに、これからのあなたに、そしていつかのあなたに。これから出会う本が、どんなときもあなたにそっと寄り添って、支えてくれるに違いありません。」と語っていますが、本は新たな自分や考え方との出会いです。たくさんの出会いのために、ぜひ、一冊でも多くの本を読んでほしいと思います。町図書館のケーブルテレビ図書紹介に、私も出演しておすすめの本を紹介しました。ご家庭でも本のことを話題にするきっかけにいただければ幸いです。

5月の予定

- 2日（月）校内陸上大会
- 3日（火）憲法記念日
- 4日（水）みどりの日
- 5日（木）こどもの日
- 6日（金）内科検診
- 12日（木）第1回生徒会総会
- 13日（金）全会津中体連陸上壮行会
- 16日（月）歯科検診
- 17日（火）全会津中体連陸上競技大会
- 18日（水）全会津中体連陸上競技大会
- 23日（月）甲状腺検査
- 25日（水）熟読タイム
- 26日（木）尿検査①、耳鼻科検診
- 27日（金）第1回英語検定
- 29日（日）野沢地区リサイクル

※ 4月22日（金）のPTA学年始保護者会では、たくさんの保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。今後も、本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしく願いいたします。

※ 休日や夜間に、緊急で学校に連絡が必要になった場合には、安全安心メールでお知らせしたメールアドレスにメールでご連絡ください。